佐倉日蘭協会会報 No. 56

Hallo! にちらん

“Hallo!” はオランダ語のよびかけのことばです

2026（令和８年）10.30

豪雨・台風被害のお見舞い

当市と周辺地域では8月、9月と豪雨・台風による大規模な災害があり、甚大な被害が生じました。被害にあわれた方々と被災地に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を祈念いたします。当協会には国内外から多くのお見舞いメッセージを頂きました。

宮内庁からは、秋篠宮皇嗣同妃両殿下には当協会員を案じられ、お見舞いのお気持ちをお持ちである、とお伝え頂きました。尚、秋篠宮皇嗣殿下は日蘭協会（東京）の名誉総裁でおられます。皆様からお寄せいただいた温かいメッセージに心よりお礼申し上げます。
【会長　山岡　みち代】



主催事業のご案内・ご報告

第１回「オランダまつり」を開催します ～参加者募集～

当協会は、これまで春の佐倉市チューリップフェスタ開催に合わせ、佐倉ふるさと広場にて13回にわたり「風車まつり」を開催してきました。現在、ふるさと広場の拡張工事が行われている事から、場所を臼井の佐倉ハーモニーホールに移し、初めて「オランダまつり」を開催することになりました。オランダのストリートオルガンとリコーダーの演奏、パネル展示、オランダ木靴体験、オランダの味販売など、オランダを身近に感じ体験していただける内容です。またオランダの冬の国民的行事として知られる「シンタクラース祭」もお楽しみいただけます。シンタクラース（聖ニコラス、子どもの守護神）は子どもたちとお話しするのが大好きです！　ご家族ご友人お誘いあわせの上ご参加ください、お待ちしています。

「オランダまつり」 共催：佐倉市
日時：令和8年12月12日（土） 13時～16時
場所：佐倉ハーモニーホール
　　エントランスホール・ホワイエ
内容：ストリートオルガンとリコーダーアンサンブル「アマービレ」のジョイントコンサート、オランダ紹介パネル・グッズ展示、オランダの味販売、オランダ木靴体験、シンタクラース登場、他
対象：会員、一般（申込不要）
参加費：無料



佐倉日蘭協会設立 40 周年記念研修旅行のご案内

1987年に誕生した佐倉日蘭協会は来年設立40周年を迎えます。この間佐倉・オランダ児童交流事業を始め数々の事業を行っておりましたが、今般、設立40周年記念研修旅行として、江戸時代後期の医師、蘭学者である緒方洪庵が大阪（大坂）に開塾した適塾を見学します。適塾は福沢諭吉を始め、橋本佐内、大村益次郎ら、当地を含め全国から多くの塾生が学び、蘭医学者を輩出しました。ちなみに、当地佐倉からは鏑木立本、神保朔茂の2名が学んでいます。建物は1964年（昭和39年）「旧緒方洪庵住宅」の名称で国の重要文化財に指定されています。その後はバス移動で西宮「アンネのバラの教会」を訪れます。アンネのバラの教会は、アンネ・フランクの父、オットーフランクに聖イエス会がイスラエルで出会ったことがきっかけでアンネ生誕50周年1979年に建設が始まり1980年に献堂されたとき、オットー氏よりアンネの形見として美しいバラが送られてきました。また翌日には神戸市立博物館・旧居留地・異人館巡りを予定しております。会員の皆様の参加をお待ちしております。

日時：令和9年5月18日（火）～19日（1泊2日）
定員：25名（先着順・定員になり次第締め切り）
　　※11月４日（水）より受付
費用：￥76，000～￥79，000 （参加者人数による）
申込先：佐倉日蘭協会　会長　山岡みち代
e-mail：　kmymk-701-olive@air.ocn.ne.jp
080-1053-8202 TEL/FAX 043-485-0627
又は　　事務局長　関　とも子
e-mail：　minoes48@orion.ocn.ne.jp
090-4050-2444 TEL/FAX 043-463-3269

尚、申込はなるべくe-mail　又はFAXでお願いします。その際、住所・氏名・生年月日・電話番号をお知らせください。受付終了後お申込みされた方には詳細をお知らせします。

※ツアー手配先：ファーストドリーム（株）千葉県知事登録旅行業第3－1059号



オランダ事情講演会
「文化文政期の外交と阿蘭陀通詞」
～本木庄左衛門を中心に～
を開催しました。

講師 白石広子さんをお迎えし9月27日（日）14時より16時まで佐倉市立美術館4階ホールで開催しました。

9月21日台風25号と秋雨前線による大雨で大変な被害が出ました。佐倉市と北印旛沼で被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

当日は71名の参加があり内非会員47名で広く演題に対する関心の深さを感じました。

白石さんはプロジェクターを使い、分かりやすい説明をしてくださりました。

文化文政期が昨年の大河ドラマ「べらぼう」と同時代で町人文化の華やかさが思い浮かばれました

一方国際情勢が不安定な中、通詞の役割の重要さを知り、特に、本木庄左衛門は単に通訳ではなく、あらゆる知識を有し、近代的な考えと多角的な視野を持った人物と知りました。

最後に質問にも丁寧に回答頂き、実り多い学びの時間となりました。講師白石広子さん、ご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。

【事務局 若宮　陽子】



講演会に参加して

白石広子先生の講演を拝聴し、阿蘭陀通詞に対する認識が大きく変わりました。
これまで通詞というと、外国人との会話を取り次ぐ通訳という印象が強かったのですが、鎖国時代にありながら、実際には海外の情報収集、外交交渉、文書翻訳など、西洋の学問や文化を日本に伝える重要な役割を担っていたことを知りました。

特に、興味が深かったのは、本木庄左衛門の人物像とその功績です。レザノフ来航をはじめとする当時の国際情勢の中で、庄左衛門がどのように外国の情報を受け止め、判断していたのかというお話から、単なる語学の専門家ではなく、外交や海外情勢について深く考える人物であったことが伝わってきました。また、文化期に起きた魯寇事件に対する蘭学者たちの反応や、1809年庄左衛門が示した大胆な提案（秘稿江都水江遺候控）には大変驚かされました。フェートン号事件やシャルロッテ号事件についても、限られた時間ではありましたが、通詞が当時の外交の最前線にいたことを理解する手掛かりとなりました。

また、印象に残ったのは、白石先生の講演は、言葉の運びに心地よいリズムがあり、話の展開も手際よく整理されていたため、内容が自然に頭に入り、とても分かりやすく拝聴することができました。私は以前から江戸時代中期以降の歴史に関心があり、今回の講演を通して、江戸時代の外交と、その最前線で活躍した本木庄左衛門について、さらに深く知りたいという思いが強くなりました。

【会員　八田幸男】



講演会に参加して

今回の講演会を通じて、江戸時代の阿蘭陀通詞が担っていた役割の重さと、本木庄左衛門という人物の特異性について、深く認識することができた。

通詞は単なる通訳ではなく、外交交渉や貿易実務、翻訳、情報収集に加え、医学・科学など西洋の知識を日本に導入するという、多岐にわたる重責を担っていた。特に興味深かったのは、フェートン号事件やシャルロッテ号事件に関連する通詞の解雇・復職の経緯である。国際情勢が緊迫する中、通詞たちがいかに難しい立場に置かれていたかを知ることができた。

さらに、オランダの博物館に保管されていた公文書を丹念に読み解き、日本に残されていない史料から、歴史の陰に隠れていた事実を明らかにしていく過程は、まさに歴史研究の醍醐味であり、大変興味深かった。本木庄左衛門の生涯と功績を通じて、日蘭交流の歴史を新たな視点から見つめ直す、貴重な機会となった。　【一般　山本　朗】

参加事業のご案内

「市民活動発表会2026～つたえる、ひろがる、私たちの活動~」・ポスター展に参加

佐倉市市民公益活動サポートセンター主催「市民活動発表会2026」は11月29日（日）9時45分～15時　志津コミュニティセンターにて開催され、当協会は登録団体として参加します。志津コミュニティセンターで開催されるのは一昨年に続き今回2回目となりますが、大ホール、2階の各部屋、ホワイエ、中庭・調理室外芝生と広範囲にわたり多くの団体の活動が発表されます。当協会は大ホール内にて従来のブース展示で活動紹介、木靴体験、オランダの味（ワーフル・チーズ）の販売を予定しておりますので皆様お誘いあわせの上ご来場いただき、当協会ブースにお立ちお寄りください。

また下記のごとく巡回ポスター展に参加しておりますのでご覧いただければ幸いです。

【事務局長　関とも子】



2025年ブースの様子

1. 令和8年11月7日（土）～13日（金）
◆イオンタウンユーカリが丘東街区3階
2. 令和8年11月29日（日）
◆市民活動発表会会場（志津コミュニティセンター）
3. 令和9年1月20日（水）～29日（金）
◆夢さくら館
4. 令和9年2月4日（木）～11日（木）
◆弥冨公民館2階ロビー

佐倉オランダ児童交流経験者　トム君の再々来日

2016年佐倉オランダ児童交流事業でオランダのブレイスヴエイクにある、アンネ・フランク小学校代表団の一員として当地を訪れたことのあるトム君が、2024年8月の再来日に続いて、今年9月に再々来日しました。トム君が当地でお世話になったホストファミリー細谷さんから私のほうに連絡をいただき、9月20日に久しぶりの再会が実現し、旧交を温めることが出来ました。前回の来日については2024年会報10月号にも記事を掲載しましたが、児童交流の友達ビヨルン君と友人の3人での観光目的でした。今回の来日は今秋から来春まで6か月にわたり、九州にある大学で日本語と日本の歴史を学ぶという目的によるものです。 トム君は、佐倉での経験がとても楽しく印象的であったこと、日本への興味がさらに膨らみ歴史を学ぶことになった、と目を輝かせて話してくれました。



現在、佐倉オランダ児童交流は再開できず残念ですが、トム君と細谷ファミリーとの交流が長く継続し、今回は日本で勉強するための来日という運びとなり大変嬉しい事です。今後トム君が再度当地を訪れる機会があれば、会員皆さんや佐倉の子どもたちとの交流が実現できるよう願っています。細谷ファミリーには2016年、2018年と二回にわたりホストファミリーとしてご協力いただきました、佐倉オランダ児童交流事業へのご尽力に改めて感謝いたします。

【会長　山岡　みち代】





2026.10.28

オランダ関連情報

−「オルセー美術館所蔵いまを生きる歓び」展−

東京都美術館　開館100周年記念
令和8年11月14日(土)～令和9年3月28日(日)
東京都美術館（上野）
ゴッホ＜星月夜(ローヌ川の星月夜)＞16年ぶり、
＜昼寝＞初来日
休館日　月曜日、11月24日(火)、12月22日(火)～2027年1月3日(日)、1月12日(火)、3月23日(火)
観覧料
一般 2,400円(2,200円) ／ 大学生・専門学校生 1,300円(1,100円) ／ 65歳以上 1,600円(1,400円)
展覧会公式サイト
https://art.nikkei.com/orsay2627/



−千葉開府 900 年企画展−

「月と星と一美術がつなぐとき」
令和8年11月23日(月・祝)まで
千葉市美術館にて開催中
観覧料　一般 1,500 円、大学生 1,000 円、小中学生・高校生無料、（展示品の一部：佐倉藩天球儀(複製)、西洋の天文書・天球図他）

−北里柴三郎記念博物館−

近代日本医学の道程Ⅱ
～「志」に共鳴せし支援者たち～
令和 9 年 3 月 20 日(土)まで
北里柴三郎記念博物館
休館日　日曜、月曜日、祝日、11月9日、年末年始
入館料　無料
https://www.kitasato.ac.jp/jp/kinen-shitsu/topics/i20261001.html

−舞台−

「シーボルト父子伝～外伝～緋髪の大和撫子」
オランダ商館医師シーボルトの娘・楠本イネ生誕200年記念の舞台
公演日：2027年1月14日(木)～1月17日(日)
会場：赤坂RED/ THEATER
問合せ先：siebold2026@gmail.com



−新刊のご案内−

『Print Passages: Colonial Book Culture in the Dutch East Indies』=印刷がたどった道ーオランダ領東インドの植民地期書物文化)= Lisa Kuitert著 NUS Press Pte Ltd (シンガポール大学出版会)社 Aug. 2026刊
[インドネシア]に印刷された書物がもたらされた歴史と、それによって生じた変化を研究したものであり、これほど詳細にインドネシアの出版文化を研究した例はこれまでなく、著者はいくつかのテーマを取り上げながら、例えばオランダ語を扱う研究者や印刷業者が、どのようにしてインドネシアへ渡り、そして現地で活動するようになったのかといった実際的な問題を明らかにしている。図版多数収録。

『ソクラテスーWat is goed Leven? 善く生きるとは何かー』Barbara Stock作 川野夏実:訳 花伝社(令8.9.25刊)
オランダを代表する漫画家バーバラ・ストック氏による[活字]と[イラスト]で読みやすく描き出された[西洋哲学書]の原点にふれる、笑って学べる本格的哲学グラフィック・ノベルです。

『フェルメール真珠の耳飾りの少女展』公式ガイドブックー17世紀オランダの名品、奇跡の再来日−朝日新聞出版 編著(令8.6.5刊)

＊オランダ関係のイベント情報、ニュース等ございましたら、メール・FAX等で下記問い合わせ先までお知らせください。

特別会員（敬称略）

岡村美智子
(株) 小川園
(株) オランダ家
(株) 木村屋
(株) クリケット
日本電気商会
(公) 佐倉市観光協会
佐倉商工会議所
DIC 川村記念美術館
佐倉順天堂医院
みらいの里さくら
佐倉ロータリークラブ
田中育子
千明 （CHIGIRA, M）
佐倉厚生園病院
宮北英志
ファーストドリーム(株)

佐倉日蘭協会

〒285−0037 佐倉市本町 81　佐倉順天堂記念館
普通会員 1 口 2,000 円／特別会員 1 口 5,000 円
＊新規会員募集中　詳細は下記問い合わせ先へ
事業参加申込 ・ 問い合わせ
佐倉市魅力推進部文化課
文化振興班　佐倉日蘭協会担当
〒285−8501　佐倉市海隣寺町 97
TEL . 043−484−6191
FAX . 043−486−9401
ホームページ「佐倉日蘭協会」で検索

